

最近の県内景気動向

平成13年5月30日
日本銀行水戸事務所

～経済動向、減速感窺われる～

最近の管内経済動向をみると、消費が総じて回復感に乏しい展開を続ける中、製造業では生産調整の動きが広がり、また労働需給も弱含みとなるなど、ここへきて減速感が窺われる。

《個人消費》

■4月の大型小売店の売上

婦人物を中心に衣料品や身の回り品が比較的堅調であったものの、食料品、雑貨等が依然低調なことから、全体では引き続き前年を下回った（前年比▲3.6%）。

■4月の乗用車新車登録台数

小型車（前年比+3.6%）は新型車投入効果から前年を上回ったものの、普通車（同▲10.2%）が前年を下回ったことから、全体でも前年を下回った（同▲2.0%）。

■4月の家電販売

特定家庭用機器再商品化法（所謂家電リサイクル法）対象商品（冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン）に駆け込み需要の反動がみられたほか、パソコンの伸びもやや鈍化したことから、全体ではほぼ前年並みに止まった。

■旅行取扱状況

5・6月の取扱いは、海外が韓国、香港等近場を中心にほぼ前年並みとなっているものの、国内は前年をやや下回っている。

《公共・住宅投資》

■4月の公共工事請負金額

市町村（前年比▲34.2%）、公団・事業団（同▲56.0%）の大幅発注減を主因に、全体では前年を1割方下回った（同▲13.6%）。

■3月の新設住宅着工戸数

貸家（前年比+3.5%）、分譲（同+88.6%）が増加したものの、主力の持家（同▲15.5%）が大幅な減少となったことから、全体では引き続き前年を下回った（同▲3.7%）。

《生産動向》

■2月の鉱工業生産

輸出や半導体関連業種を中心に、操業度を引下げる動きが広がりを見せており、電気機械、化学を中心に前月を下回った（生産指数前月比：▲4.6%（原指数前年比+0.7%））。

■2月の出荷

一般機械、電気機械等の大幅減少を主因に、2ヶ月連続のマイナスとなった（出荷指数前月比：▲2.7%（同▲1.9%））。

■2月の在庫

昨秋大幅に増加した後、最近ではほぼ横這いで推移している（在庫指数前月比：▲0.4%（同+8.0%））。

《雇用動向》

4月の新規求人は、製造業、卸・小売業等の落込みが響いて、前年比+4.7%と2ヶ月連続で1桁台の伸びに止まった。他方、新規求職は、年度末にかけて退職者が嵩んだことを映じて大幅に増加、久方振りに前年を上回った。こうした状況下、有効求人倍率は1月をピークに低下、労働需給は弱含みに転じている。

《企業倒産》

4月の企業倒産（負債総額10百万円以上の件数、負債総額合計）をみると、過去最高の倒産件数を記録した前年（30件、106億円）の反動から、件数（23件）、金額（54億円）ともに、前年を下回ったものの、依然高水準が続いている。

茨城県主要経済指標

(前年比、%)

	12年	13/2	13/3	13/4
大型小売店売上高	▲6.2	▲7.5	▲3.2	▲3.6
乗用車新車登録台数				
[除く軽]	2.2	4.3	3.3	▲2.0
[含む軽]	3.2	0.3	2.9	▲4.3
渡航者数 [観光]	6.9	12.2	n.a.	n.a.
公共工事請負金額	▲7.5	48.6	7.4	▲13.6
新設住宅着工戸数	▲10.7	▲1.2	▲3.7	n.a.
[持家]	▲3.7	▲10.7	▲15.5	n.a.
産業用電力消費量	5.4	1.7	1.6	0.2
[大口電力]	5.8	1.0	2.2	0.2
鉱工業指数 [生産]	—	0.7	—	—
[出荷]	—	▲1.9	—	—
[在庫]	—	8.0	—	—
有効求人倍率 (倍)	0.65	0.72	0.69	0.69
常用雇用 (指数)	98.9	n.a.	n.a.	n.a.
1人当たり名目賃金 (指数)	98.0	n.a.	n.a.	n.a.
所定外労働時間	1.9	n.a.	n.a.	n.a.
倒産件数	13.1	55.6	▲6.3	▲23.3